

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

知識・能力 観点 学習・教育 到達目標		(a)	(b)	(c)	(d)				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
					(1)	(2)	(3)	(4)					
(A)	A-1			◎									
	A-2			◎				◎					
	A-3		○			◎		○					
	A-4		○		◎			○					
(B)	B-1	◎											
	B-2	○	◎										
(C)	C-1					○			◎				○
	C-2					○			◎				○
	C-3	○							◎				
	C-4								◎				
(D)	D-1					◎			○				
	D-2						◎					◎	
	D-3							◎					
	D-4							◎					○
(E)	E-1									◎			
	E-2											◎	◎
	E-3											○	◎

(A) 工学の基礎と専門

(A-1) 数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）と自然科学（物理、化学など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること

(A-2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること

(A-3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の

解決に応用できること

(A-4) それぞれの専門分野における”もの創り”のための4つの専門科目群（材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系）の知識を身につけて、”もの創り”に応用できること

(B) 地球的視点と技術者倫理

(B-1) 他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること

(B-2) 技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

(C) コミュニケーション能力

(C-1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること

(C-2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること

(C-3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること

(C-4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

(D) 複眼的かつ実践的能力

(D-1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること

(D-2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること

(D-3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること

(D-4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

(E) 自主・自立と協調性

(E-1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること

(E-2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること

(E-3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること